

No.1658

第1659 回例会

2015年2月20日(金) 12:30～13:30
点鐘

ロータリーソング “それこそロータリー”

会食(和食)

会長会務

*ビジター・ゲスト紹介。

米山奨学生 楊 宜平さん

*東京マラソンは、2007年に始まった東京で行われるマラソン大会であり、第1回大会は「東京マラソン2007」です。エリートランナー向けフルマラソンの「東京国際マラソン」(男子)と「東京国際女子マラソン」、市民ランナー・障害者向け10kmロードレースの「東京シティロードレース」があり、それらを一つに統合して「ニューヨークシティマラソン」、「ロンドンマラソン」、「ボストンマラソン」に匹敵する市民参加型大規模シティマラソンとして、2010年に国際陸上競技連盟(IAAF)の世界ロードレース格付け制度のもと、東京マラソンが企画されています。

幹事報告

*例会変更のお知らせ

倉吉東 3月12日(木) 職場例会

ビジターの受付は定刻事務局にて。

*東部5RC 合同例会の出欠席を締め切ります。
次週2月27日例会より、合同例会会費を集めさせていただきます。

委員会報告

*親睦活動・出席委員会

出席率・スマイル報告

*その他

クラブフォーラム「IDMの総括」

先週(第1658 回例会)の記録

2015年2月13日(金) 12:30～13:30

会長会務

*週報に2月は平和と紛争予防/紛争解決月間です、と書いていますが、それは次年度からでは「世界理解月間」となります。

*IMのご案内を先週よりしていますが、理事役員、2011年7月以降の方は登録させていただきます。また、多くの会員に参加してもらいたいので、ご参加よろしく願いいたします。

*ロータリー財団の目標金額までもう少しです。ご協力、お願いいたします。

*明日はバレンタインデーです。最近は「義理チョコ」「友チョコ」などへ変化しているようです。チョコレートに限らずいろいろな商品がバレンタインデーに際して販売されているようですので、商店を含めて活性化されたら良いと思います。

幹事報告

*2014年10月の国際ロータリーの理事会でロータリーの特別月間が、重点分野を強調されるものに変更されました。詳しくはガバナー月信NO.8の1ページ目、ロータリーの友2月号を読んでください。ただし、8月 会員増強・拡大月間、10月 米山月間、11月ロータリー財団月間、6月 ロータリー親睦活動月間はそのままということです。

*理事会報告

①新規米山奨学生(中国 鳥取大学 女性)

カウンセラーに児島 良会員。

②IMの参加にについて

理事・役員・2011年7月以降入会の方は登録する。

出席率

2月13日 会員50名 欠席9名 82.00%

1月30日 メーキャップ 8名 88.00%

ビジター

交野 RC 吉向秀治 さん

スマイル

- * 山下卓治会員／若先生、本日の卓話よろしくお願ひします
 - * 金田卓也会員／若学長様、本日はお世話になります。
 - * 岡本安量会員／①雪が降ってますね。また週末積もるみたいですよ！②放送大学鳥取学習センター 若学長、本日よりお願ひします。
 - * 森下哲也会員／若先生、今日の卓話楽しみにしています。
 - * 小林 一会員／若先生には本日の卓話、お世話になります。
 - * 矢谷英志会員／若先生 本日は卓話よろしく御願ひします。
 - * 田中好洋会員／I・D・M3班、ご苦労様でした。
 - * 岡田信俊会員／①IDM、第3班の皆様、ありがとうございました。②2/7に「中国留学生学友会・春祭」に吉田さんで行かせていただきました。吉田さん、ありがとうございました
 - * 生馬美津雄会員／誕生日・73才になりました土江さんに追いつきました。
 - * 倭島昭博会員／誕生日・男盛りの58才になりました！
 - * 金本勝彦会員／誕生日・51歳になりました。
 - * 瀨本眞一会員・田中宏和会員・麻木宏栄会員／誕生日。
 - * 早退2件 バッジ不携帯1件
合計33,000円
 - * ロータリー財団寄付：1件
- 卓話「留学生支援から地域交流活動まで
～心ある想いは人を動かす～」**——
放送大学鳥取学習センター
所長 若 良二 氏



- * 放送大学の紹介
放送大学（1958年設立）の文部科学省が設置した正規の国設通信制大学です。
① 入学試験はありません。入学資格は「学びたい」②学ぶ分野は教養学部のみで6つの専門コース。③学費（授業料）は多くの国立大学よりかなり安く設定。④授業内容は300の授業科目と3000の面接授業。⑤資格は教養学士の学位、エキスパート認証などさまざまな資格にも対応、生涯学習。⑥30代から50代が約60%と意外に若い！
- * 外国人留学生についての基礎知識
①外国人留学生って？日本に入国する目的（在留資格：ビザ）②種類・国費留学生（短期留学

生を含む）・私費留学生・政府派遣留学生（学部生・大学院生のみ）③身分・大学院生（博士課程・修士課程）・学部生・研究生・研修生・科目等履修生・聴講生・特別聴講生

- * 留学生の推移と留学生を取り巻く主な動き
①国際交流の在り方を問う新聞記事
取材を受けた当時の留学生を取り巻く状況が良くわかる個人で出来ることに限界を感じていたため、学内外の仲間と連携し、組織的な支援活動を模索する前途多難を思わせるが、まず、留学生のために何とかしなければ、との想いで組織作りに奔走する。地域社会（市民）、教育機関ボランティア組織、行政機関へ働きかけ、ネットワークの構築と連携事業を実施し、現在の姿に近づく。
②1988年（昭和63年）当時の私費中国人留学生の厳しい生活状況を伝える新聞記事
アルバイトで生計を立てながら、慎ましやかな生活で、苦学を厭わない姿に学ぶ所が多い。将来に対する希望や望みが叶った喜びで、家族の一体感が強化地域社会（日本人）からの物心両面にわたる支援に対する感謝の気持ち、日本文化への理解が良好な日中関係に繋がるとの想い。

- * 最近の外国人留学生事情
①留学生の種類・身分の変化。
・国費留学生・政府派遣留学生の減少・私費留学生・特別聴講学生（交換留学生）の増加・博士課程、修士課程留学生の減少・学士課程（学部生）、特別聴講学生（交換留学生）の増加。特に、特別聴講学生が急増。
②留学生との交流・支援の変化
・留学生の低年齢化→物による支援から交流による生活支援、学習、学位取得より異文化体験、国際経験→体験型交流、地域交流招待（一方向）より協働・共同（双方向）、客から仲間（家族・地域住民）・長期留学生（1年以上）の減少。深い交流になりにくい、相互メリット。
・我国の留学生の90%以上を占めるアジア諸国や途上国の経済発展・我国の国際競争力・国際影響力の低下・日本の、特に地方の自然・文化と地域社会の素晴らしさ・帰国留学生の90%以上は日本の素晴らしさを実感し、好印象（平和環境）。

- * 特徴ある留学生交流事例
①留学生との交流や支援には様々ある。②積極的に参加し、楽しむことが大切です。
- * まとめ
留学生支援に留まらず、心ある「想い」を具体的な社会活動として継続的に実践することは、「想い」を同じくする人と互いに友情・信頼を育み、共に成長し、地域社会を動かす可能性を秘めている。

次週例会予定

2015年2月27日（金）第1660回例会
職業奉仕表彰

「日本きのこセンター 菌じん研究所」

（編集者 山村保雄）